

H 1 東タンクエリア内堰からの水のにじみについて

< 参考資料 >
2015年9月30日
東京電力株式会社

【概要】

本日（9月30日）午前、H 1 東タンクエリアの鋼製の内堰のボルト部4箇所幅10～30cm程度のにじみ痕があることを確認したが、水は鋼製の内堰に沿って設置されているコンクリート堰の上部にとどまっており、コンクリート堰側面および床面には至っていないことを確認していること、および当該タンクエリアの外堰の排水弁は「閉」であることから、環境への影響はないと考えている。

【時系列】

- ・ 7:48 H 1 東タンクエリア内堰のボルト部から1分に1滴程度の滴下を確認したと連絡あり
- ・ 9:00 現場を確認し、当該タンクエリアのコンクリート堰上部4箇所幅10～30cm程度のにじみ痕があること、および水は鋼製の内堰に沿って設置されているコンクリート堰の上部にとどまっており、コンクリート堰側面および床面には至っていないことを確認
止水処置を行うため、にじみのあったボルト部の拭き取りを行ったところ、水の滴下はなくなりにじみ程度であることを確認
- ・ 9:35 止水セメント等による止水処置完了

【今後の対応】

H 1 東エリア内堰（タンク非設置エリア）の雨水をH 3 エリア堰内へ移送し、水位を下げる措置を実施。

現場の状況

【H1東タンクエリア内堰からのにじみの状況】



【止水の状況】

- 滲みが確認された鋼板のボルト部を、止水材にて止水処理を実施
- コンクリート頂部のぬれについては、ウエスで拭き取りを実施

